



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 安楽亭
 コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,491	66.6	△1,009	—	△916	—	△1,225	—
2020年3月期第3四半期	11,699	△4.9	192	61.5	191	90.1	38	△8.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,222百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 74百万円 (243.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△573.17	—
2020年3月期第3四半期	18.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,958	4,447	18.6
2020年3月期	21,890	5,670	25.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,447百万円 2020年3月期 5,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,139,434 株	2020年3月期	2,139,434 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,388 株	2020年3月期	1,343 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,138,047 株	2020年3月期3Q	2,138,215 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により消費が冷え込み、景況が急速に悪化しました。政府の経済施策等により一時経済活動の回復傾向も見られておりましたが、11月より感染拡大第三波が発生して感染収束の見通しは不透明となり、景気回復までの道のりがさらに長期化することが懸念されております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた店舗の休業や営業時間短縮、そして消費者の外出自粛により来客数が減少しました。飲食各店舗において感染防止対策が実施されているものの、感染収束の時期が見通せないなか客足の回復には時間を要する見込みであり、依然として各社とも厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった商品提供を堅持するとともに、店内の衛生管理を強化・徹底し、お客様に安心してご来店いただける環境づくりに注力してまいりました。また、弁当をはじめとするテイクアウト商品の拡充、新たなメニューの開発、季節ごとのフェア開催等により集客に努めるとともに、収益回復が見込めない店舗の退店や、オペレーション見直しによるコスト低減等により収益力維持を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高194億91百万円（対前年同期比66.6%増）、営業損失10億9百万円（前年同期は営業利益1億92百万円）、経常損失9億16百万円（前年同期は経常利益1億91百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12億25百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は168店舗であります。内訳は直営119店舗、暖簾11店舗、FC38店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、4月より焼肉弁当等テイクアウト商品の販売を開始し、以後メニューの多様化やWEB注文対応などサービス拡充を進めたほか、7月より、食べ放題人気の高まりに応えるべく、食べ放題メニューを大幅にリニューアルし、豪快なステーキ肉や豊富なサイドメニュー、多様なアレンジを加えてパワーアップしました。また、「元気をお届け！黒毛和牛メニュー」、アイドルグループ「超ときめき宣伝部」や声優鈴木みのりとのコラボフェア開催、年末年始の「クリスマスデザートフェア」、「日本のごちそう黒毛和牛フェア」、「松阪牛カルビ販売」等、安楽亭の楽しさを伝える企画を多数実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は75億17百万円（対前年同期比22.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は22百万円（対前年同期比96.2%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、アイドルグループ「超ときめき宣伝部」や声優鈴木みのりとのコラボフェア、「山形堪能フェア」、「秋の栗づくしスイーツフェア」、年末年始の「冬の御馳走フェア」、「松阪牛カルビ販売」の開催等、七輪房の楽しさを伝える企画を多数実施し、安楽亭業態同様、LINE配信等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は13億66百万円（対前年同期比20.3%減）となり、セグメント損失（営業損失）は11百万円（前年同期はセグメント利益69百万円）となりました。

③ アークミール各業態

アークミール各業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は147店舗であります。内訳は直営146店舗、FC1店舗であります。

なお、アークミール各業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」、「donイタリアーノ（イタリアン）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス」の主力各業態において、主力メニューのリニューアル、テイクアウトの拡充等を実施したほか、「肉の日キャンペーン」、「ステーキのどんサロインステーキフェア」、「牛タンしゃぶしゃぶ食べ放題」、「フォルクス創業50周年祭」等の企画を積極的に展開し、来店促進を図ってまいりました。

以上の結果、アークミールの当第3四半期連結累計期間の売上高は103億72百万円となり、セグメント損失（営業損失）は5億95百万円となりました。

④ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「えんらく（焼肉食べ放題）」、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億35百万円（対前年同期比16.6%減）となり、セグメント損失（営業損失）は42百万円（前年同期はセグメント損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ20億68百万円増加し、239億58百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ32億91百万円増加し、195億11百万円となりました。これは、短期借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ12億23百万円減少し、44億47百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました2020年3月期決算短信においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。現時点においても収束時期の見通しが立たない状況が続いております。従いまして、2021年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます、今後の市場動向や店舗営業の推移により、業績予想を合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,998	5,854,272
受取手形及び売掛金	678,520	1,035,882
商品及び製品	146,388	536,521
仕掛品	1,309	1,135
原材料及び貯蔵品	884,147	743,046
前払費用	441,901	395,037
その他	299,610	245,588
貸倒引当金	△4,907	△4,907
流動資産合計	6,020,969	8,806,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,810,324	3,668,135
機械装置及び運搬具(純額)	70,948	77,472
工具、器具及び備品(純額)	414,749	330,482
土地	6,290,349	6,290,349
リース資産(純額)	195,102	127,242
建設仮勘定	68,986	11,031
有形固定資産合計	10,850,461	10,504,715
無形固定資産		
のれん	69,876	52,772
その他	427,869	429,562
無形固定資産合計	497,745	482,335
投資その他の資産		
投資有価証券	134,525	139,989
長期貸付金	10,828	10,069
長期前払費用	377,845	318,916
繰延税金資産	306,783	242,302
敷金及び保証金	3,683,310	3,447,625
その他	34,555	32,680
貸倒引当金	△26,996	△26,919
投資その他の資産合計	4,520,852	4,164,664
固定資産合計	15,869,059	15,151,715
資産合計	21,890,029	23,958,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,062,389	1,354,733
短期借入金	2,522,572	4,237,608
リース債務	105,156	77,332
割賦未払金	252,521	244,415
未払金	545,971	624,940
設備関係未払金	54,566	24,274
未払費用	1,006,168	1,667,228
未払法人税等	156,861	285,678
未払消費税等	393,306	1,029,091
賞与引当金	161,175	102,028
転貸損失引当金	13,297	13,297
店舗閉鎖損失引当金	41,899	70,773
資産除去債務	15,058	26,706
その他	578,985	968,012
流動負債合計	6,909,929	10,726,121
固定負債		
長期借入金	6,766,030	6,447,200
リース債務	198,919	143,248
長期割賦未払金	796,907	745,497
繰延税金負債	103,715	105,075
役員退職慰労引当金	349,335	111,405
転貸損失引当金	22,836	12,863
退職給付に係る負債	560,640	530,535
資産除去債務	378,721	359,738
その他	132,625	329,430
固定負債合計	9,309,733	8,784,995
負債合計	16,219,662	19,511,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	25,054	△1,200,409
自己株式	△7,601	△7,801
株主資本合計	5,671,936	4,446,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,043	△938
為替換算調整勘定	△1,576	△1,649
退職給付に係る調整累計額	5,049	3,490
その他の包括利益累計額合計	△1,570	902
純資産合計	5,670,366	4,447,175
負債純資産合計	21,890,029	23,958,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	11,699,301	19,491,501
売上原価	4,263,900	7,010,193
売上総利益	7,435,401	12,481,307
販売費及び一般管理費	7,243,154	13,490,365
営業利益又は営業損失(△)	192,246	△1,009,057
営業外収益		
受取利息	830	3,459
受取配当金	1,990	2,676
受取地代家賃	4,722	53,196
貸倒引当金戻入額	161	—
助成金収入	—	99,956
その他	23,267	37,879
営業外収益合計	30,973	197,169
営業外費用		
支払利息	26,039	73,010
賃貸収入原価	4,374	27,494
その他	1,273	3,666
営業外費用合計	31,687	104,171
経常利益又は経常損失(△)	191,533	△916,059
特別利益		
固定資産売却益	15,267	218
受取保険金	53,047	—
受取補償金	25,000	—
特別利益合計	93,315	218
特別損失		
固定資産除却損	10,785	28,697
固定資産圧縮損	50,185	—
投資有価証券評価損	39,926	—
減損損失	—	3,535
賃貸借契約解約損	8,030	140,255
災害による損失	2,229	—
特別損失合計	111,157	172,488
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	173,691	△1,088,329
法人税、住民税及び事業税	100,586	71,865
法人税等調整額	34,403	65,269
法人税等合計	134,989	137,134
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,701	△1,225,464
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	38,701	△1,225,464

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,701	△1,225,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,085	4,104
為替換算調整勘定	△437	△73
退職給付に係る調整額	—	△1,559
その他の包括利益合計	35,647	2,472
四半期包括利益	74,349	△1,222,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,349	△1,222,991

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

2021年1月7日の緊急事態宣言の発出等を受け、営業時間の短縮を実施しており、売上高の減少が見込まれます。そのため、前連結会計年度に記載した会計上の見積りを行う上での仮定について、当期の下期には収束しているとの想定を一部変更しております。なお、当該変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,702,850	1,714,384	282,065	11,699,301	11,699,301	—	11,699,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,702,850	1,714,384	282,065	11,699,301	11,699,301	—	11,699,301
セグメント利益又は 損失(△)	584,269	69,767	△34,980	619,056	619,056	△426,809	192,246

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	アークミール	その他業態	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	7,517,071	1,366,333	10,372,872	235,223	19,491,501	19,491,501	—	19,491,501
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,517,071	1,366,333	10,372,872	235,223	19,491,501	19,491,501	—	19,491,501
セグメント利益 又は損失(△)	22,090	△11,957	△595,864	△42,207	△627,938	△627,938	△381,119	△1,019,297

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,207千円であります。

「アークミール」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては328千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。